

第2分科会：ジェンダー・DV

テーマ ジェンダーとDVに敏感な視点で日常をみる

副題

～ジェンダー平等は人権の問題。

気づきが差別と暴力を終わらせる。～

内容

ジェンダーが「男女差別」と「DV・デートDV」を生み出している。
昨年来のコロナ禍において、女性の貧困化が深刻になり、DV被害も増加。
第2分科会では、ジェンダーが生み出す差別の現実と課題、DVについて討論。



コーディネーター・パネリスト・運営メンバー

第2分科会は

「甲府市男女共同参画推進委員」メンバーが
運営に携わりました。



第2分科会：ジェンダー・DV

第1部

「ジェンダーが生み出す差別の
現実や課題」についての討議。
ディスカッションでは、
パネリストの経験等を踏まえ、
日常に潜んでいるジェンダーバイアスに
気づくきっかけの提供。



第2部

ジェンダーが生み出す暴力である
DV・デートDVについての現状。
内閣府等の統計資料を
引用するとともに、
ジェンダーDVに関わる
具体的な事例等の紹介。



第2分科会：ジェンダー・DV

現状

課題

取組方針

未来の目指す姿

山梨県では、女性議員の割合は全国ワースト1など、ジェンダーギャップ指数は低い。

各市町村の取組

- 甲府市・・・紙芝居「ジェンダーに敏感な視点で日常を見る」を作成し、出前講座開催
- 笛吹市・・・女性の地域活動への参加を促す紙芝居の作成
- 北杜市・・・中学生を対象に『家事シェア』の意識調査、『100人ワールドカフェ』開催

見えてきた課題

第1部

- 推進委員等のエンパワーメント強化の必要性
- ジェンダーバイアス、アンコンシャスバイアスへの気づき
- 女性自身の主体的努力（例：政治参画、キャリアプラン）

第2部

- 暴力を容認する感覚の排除（日本社会の現状）
- 優位劣位の関係、支配・被支配の関係の自覚
- 性をタブー視する教育からの脱却

第2分科会：ジェンダー・DV

取組方針

- ① DVは人権侵害であり、性暴力は犯罪であることの周知
- ② 身近に潜んでいるジェンダーバイアス、アンコンシャスバイアスの具現化
- ③ 女性自身の主体的努力の必要性の周知
- ④ 性暴力の加害者や被害者を生まないための予防啓発の拡充
- ⑤ 性被害・性暴力の背景にある性差別意識の排除
- ⑥ 人権を含めた包括的性教育の周知啓発

第2分科会：ジェンダー・DV

未来の目指す姿



ジェンダーが生み出す“差別・暴力”を
生ませない環境を創る



DVは“犯罪”だと
勇気をもって声をあげられる社会を創る



“ 私達は 誰一人 取り残さない ”

5 ジェンダー平等を
実現しよう

